

中鯨城会だより

第47号



表紙裏の説明をご覧ください

2024年12月

発行 中 鯨 城 会

名古屋市高年大学鯨城学園

も く じ

フラリエについて	—————	P 2
皆さんからの投稿	—————	P 3 ~ P 13
作品展一覧	—————	P 14 ~ P 20
出展に思う	—————	P 21 ~ P 23



久屋大通庭園フラリエ 花と緑に囲まれたライフスタイルガーデン

久屋大通庭園フラリエは、花や緑、水辺などの都会の自然をゆったりとお楽しみいただくガーデンを中心に、カフェ、レストラン、フラワー&グリーンショップの各施設のほか、イベントや各種教室など、自分らしく都会の中で自然を感じながらお過ごしいただける庭園です。表紙の写真は秋の紅葉を撮影しました。この庭園は四季のいろいろな景色が楽しめます。



わたしの健康法

堀田友三郎（33期 健康A）

終戦の年(昭和20年)に生まれ、令和7年は昭和100年になりますので私は傘寿を迎えます。先日、愛知川柳作家協会の会長(昭和20年生)から「川柳終戦っ子の会」へお誘いいただき入会することになりました。川柳作家の昭和20年生の集まりだそうです。そこで改めて考えました。よく80歳まで心身健康で来れたなあ。WHOが発表した世界保健統計2023年版によれば日本人男性の平均寿命は81.5歳で健康寿命は72.6歳だそうです。健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」だそうです。健康寿命を延ばすには「個人での健康意識を上げることに尽きる」と書かれています。そこで終戦っ子のわたしの健康法を振り返り、鯉城学園健康専攻修了生として生涯健康を目指したいと思い、健康法を書いてみようと思いました。



健康ということに関心を持ったのは還暦の時でした。人間ドックで血圧が高く要検診の指摘を受けました。それまで医者とは無縁でした。医者から歩くことを勧められました。「運動の習慣をつける」「歩く習慣をつける」これが第一と言われました。しかし、当時は最後の職場に変わったばかりで思うように運動はできず、歩くことだけを心がけました。すぐに膝を痛めました。ヒアルロン酸注射3本で快復しました。65歳からはジム通いを始めました。筋トレ、ストレッチそしてエアロビ、ヨガをも始めました。女性インストラクタのもと毎週2回楽しくスタジオに出ています。67歳からはスロージョギングを始め、6,7キロのゆっくりした速度で走り始めました。週2回の10Kスロージョグは今も続けています。

ボウリングもリーグ戦に出て週2回は投げています。お蔭で身体は健康です。

心身の健康とは心の方も大事です。ボランティア活動は自身の健康に大いに役立ちます。

マジックをサロン、デイサービス、トワイライト等で演じて楽しんでいます。認知症予防リーダーの研修も受けて福祉会館で活動しています。福祉会館では「PHP読書会」も主宰しています。子供の頃からドラファンで今年もドーム、ナゴヤ球場で大声上げて応援し、ストレス発散しています。

一年365日、ほとんど毎日のように出歩いています。50年間にわたり働いた後は過去とは一切つながりのない活動が大半です、「スポーツも人生も後半戦がおもしろい」と言われますが、残された時間を大いに楽しみたいものです。

中鯉城会の皆様とも時間が合えば積極的に行事に参加して交流していきたいと思っています。

地域活動として地元神社での取り組みについて

34期 鈴木 一雄

私は名古屋市中区正木一丁目に在住し、地元の町内活動として「闇之森八幡社」という神社の13人いる氏子代表の1人です。

この神社の創建は古く、平安中期の源為朝だと言われております。神社の名前の由来は、現在はその面影はありませんが、昔は月の明かりも届かない森だった為そう呼ばれていたそうです。

この神社の名を世に広めたのは江戸時代中期の尾張徳川家第7代当主である徳川宗春の時代に、ここで起きた心中事件を浄瑠璃として取り上げた事で人気を博しました。

氏子代表の仕事として毎年7月20日に行われた赤丸神事・茅の輪くぐりは今年も例年通り行われ、夏休みに入った事や夜店も出る

ことから子供さんに人気があります。私達も前日に茅の輪の設営作業を行い、輪くぐりの日は1人ずつ順番に茅の輪くぐりの先頭に立ち参加者の誘導を行いました。

何時までも地元の人達に愛される神社として毎年氏子代表は孤軍奮闘しています。



農業センターで大慌て

30期 木原 榮二

去る10月中旬、酷暑も和らぎかねて孫二人と約束していた天白の農業センターへ出掛けました。幸い平日のため人出はまばらで諸施設をゆっくり見て遊べました。

新施設のカフェで一休みして、次の施設はオシャレな牛舎で10頭位の牛の放牧がされているのを見た孫の二人は、何を思ったのか突然走りだしました。牧場の柵は大きく子供は楽に中へ入れます。驚いて名前を呼んでも止まらず一瞬慌てました。手元にあったアイスクリームを振りかざし名前を呼ぶとようやく止まり、ヤレヤレとアイスクリームを手渡し一安心しました。

次の句はその時浮かんだ句です。

- 青空の孫と至福の古い二人
- 孫を追い離され喘ぐお爺ちゃん
- 冷菓見せ孫に追いつきする安堵



「こころの絆創膏」ボランティアに参加して

37期 渡邊順子

中鯨城会の8月のレジメで鯨城会から「こころの絆創膏キャンペーンが9月10日に実施されます。ご参加をお願いします」とあり、以前仕事帰りに金山総合駅で年配の女性からもらった事を思い出して参加を決めた。

名古屋市からの依頼のボランティアだと知り、名古屋市のホームページを閲覧。

9月10日から16日は「自殺予防週間」、絆創膏には「絆」の文字が使われていることから悩みが小さなうちに人と人との絆で手当てしたいという思いが込められていると少し情報を頭の片隅に詰め込んだ。

当日の集合場所は地下鉄栄駅5番出口朝7時45分までにと。

新人の私は遅刻だけは許されないと早く床に入ったが、夜中の救急車、集合住宅の深夜帰宅の大声、明け方の雨音で一睡もできなかった。集合場所に着くと中鯨城会の先輩2人、港鯨城会の方々が集まっていた。その内、名古屋市の職員の方から絆創膏の入った紙袋を渡され、いざ出陣。

改札口からでてくる人に渡そうとしたがなかなか受け取ってもらえず、苦戦。

要領のいい先輩が私の残り分も配ってくれて約30分で終了。

30分がとても長かった。終了後にテレビ局の方がきたのは残念。

働いていた時、公共交通機関を利用していた。名鉄、JRと。自殺の手段で電車で飛び込む人がいる。辛い事はわかるが、電車の運転手さん 電車が遅延になり予定が狂わされてしまう人がいることを考えてほしいと常々思っていた。

港鯨城会のかたは遠いのに、多数みえていて頭が下がりました。



東別院夏まつりのお手伝い

8月18日（日）役割：幼児用プール内のお菓子釣り手伝い

37期 中野朋子

どんなことをするの？暑いけど大丈夫？ 新人の私にできる？ 子供たちを楽しませることが出来る？ 近くにメ〜テレがあるけど中継・取材が入るのかな〜？ 等々どうでもいい事まであれこれ考えて不安の中での参加でした。持参した中鯨城会の黄緑色のベストを「それじゃないよ」とオレンジ色のベストに変えさせられて私は？ 状態。



ブースのテントの表示はベストの背文字と同じ『ボラネット・なかまんなか』……ここで初めて、主体は中社協で中鯨城会はそのお手伝いだっただのと立場を理解した次第でした（発見1）。

始まってみれば、お菓子釣りは大好評！先輩方の巧みな呼び込みが功を奏して、幼児～中高生～もうちょっと大人の方まで沢山の人が参加。皆さん熱中して釣り上げに成功すると本人はもちろん、親御さん・横で見ていた人たち・私たちボラも「ヤッタネ！！」と大歓声で喜び合い→→不思議な一体感が生まれていました（発見2）

他にも、①差し入れの凍ったお茶と夜食のカレーライスの美味しさ ②学園の後輩たちとの思わぬ再会 ③中鯨城会の先輩方との交流 ④超久しぶりに「お祭り気分」を味わえた事（→人混み・屋台・キッチンカー・盆踊りの音楽や踊りの輪など わくわく気分がとまらない）

夏祭りのお手伝いに参加したからこそその新鮮な体験と感動がたくさんありました。私も中区の住人です。地域の活動や集いの場などに今後はもっと関心を持って参加していきたい……とも思いました（発見3）。



70才過ぎてからの手習い

37期園芸 大野 清明

鯉城学園に入学する時に園芸を専攻しましたが、第1希望は陶芸でした。家族から変てこな陶器を家に持ち込まれても置き場所に困ると言われました。その点園芸は、農園で野菜を収穫出来れば、食べられるし、多ければ他の人たちに配ればいいからと第2希望の園芸専攻となりました。

農園は不便なところにあり、特に真夏の水やりは、班のメンバーと交代で担当しても、週1回の当番は汗だくで大変な作業でした。手をかけた分、収穫できた時の喜びは大きく、充実した2年間でした。



10月の自宅収穫野菜

会社勤めの頃は、自宅の

小さな庭には見向きもしない

いで、妻まかせでした。鯉城学園入学と、コロナで外出が儘ならない時と重なり、1坪農園と花壇、プランターで野菜と花を育てることに時間を掛けていきました。野菜も花も、苗を購入しないで、出来るだけ種から育てるようにしました。何よりも育苗の敵は日照不足です。周辺を高層マンションに囲まれ、庭には1日の半日程度しか陽が当たらないので発育も悪く農園の野菜に比べると全てが小さいですが、収穫するのが楽しみになりました。今年の夏野菜は、一部苗も購入しましたが、キュウリ、ナス、ミニトマト、ゴーヤオクラを育てました。夏の暑さでゴーヤは、実は大きく育たず収穫できませんでしたが、他はそれなりに収穫できました。1坪と狭いスペースでの野菜栽培のため、連作障害を防ぐためローテーションを組んで年間計画を作るのも楽しい作業です。用土、堆肥、肥料、殺虫剤など投資金額を上回る収穫はないけど、毎日大きくなっていくのが楽しみと家族は言っています。

長年に渡り庭の松、マキ等の手入れは、毎年庭師に依頼してきました。庭師が高齢になり仕事を辞めたいと言われたので、自分でも出来るのではないかと思い、70才を過ぎてからの手習いで、4年前からYouTubeで「松・マキの剪定」の動画を見ながら、春と秋の年2回剪定をしています。

以前は、趣味はと聞かれると「旅行とゴルフ」と答えていましたが、コロナ後は「旅行と庭いじり」になりました。ゴルフが庭いじりに変わるとは思いもしませんでした。

以前は、趣味はと聞かれると「旅行とゴルフ」と答えていましたが、コロナ後は「旅行と庭いじり」になりました。ゴルフが庭いじりに変わるとは思いもしませんでした。



園芸2年の時育てた山菊の「盆栽」

中鯨城会講演会「源氏物語の紫式部」と藤原氏

28期 水野 勇

9月3日、お天気も快晴の中、中社協の研修室で講師に中鯨城会の高木先生をお迎えして中鯨城会講演会「源氏物語の紫式部」が開催されました。午前10時から開催でしたが50人近くの皆さんが集まって席もいっぱいになりました。



「1000年前の優雅な十二単の重さが2リットルペットボトル10本分の重さと同じ」から始まり、すーっと話題に引き込まれ 煌びやかな宮中の駆け引きなど最後の動画を見終わったらアッと言う間にお昼近く、皆さんも満足そうな顔で楽しい有意義なひとときでした。

高木先生と皆さんのご協力 どうもありがとうございました。



大曲の花火

28期 水野 勇

8月末 岩手大曲の花火を見て来ました。

出発1週間位前から突然台風が発生してのりくらりと強風と大雨でどうなるのか心配でしたが、風雨に振り回されながらも何とか花火を満喫して予定通り無事に帰宅しました。大輪や仕掛けが多いと思っていましたが雨風の中 写真の様な1,500機のドローンを使った楽しい花火もあり ビックリ。



10月16日 第2回社会見学 ジブリパーク

30期 伊藤守和

7月24日に企画したジブリパーク見学会が暑さ対策のために10月16日に変更されて会員18名の参加によりが開催されました。全員9時に地下鉄上前津駅南改札前に集合して、地下鉄藤が丘駅経由リニモにて愛・地球博公園駅へ。駅がジブリパーク正面で早速歩いてエレベーター棟で下に降りる。今日は平日にもかかわらず小中学生の遠足・外国人・我々のような見学者が意外と多く盛況でした。ここから第一目的地の青春の丘（展示場には入場券が必要の為中に入らず敷地場外からの見学になりました）

次はもののけの里へ、ここでガイドさんから情報があり、大陸横断する(台湾に渡る)アサギマダラ蝶がフジバカマ花に飛んで来ているのが観察出来ました。ここで集合写真撮影は居合わせたアジア人に撮ってもらいました。



続いてケーブルカー利用してモリコロパーク「展望台」からのジブリパーク「魔女の谷」の一望は「ハウルの城・ゲーチョコキパーのパン屋さん・メリーゴランド・オキノ邸・空飛ぶオープン」今日この見学会に参加して最高の景色を見ることができました。

次は魔女谷の横を通りどんどこの森方面に散策しながら日本庭園へ。ここの茶室で抹茶と栗きんとんを頂きながらの20年程前に開催された愛知万博博覧会の話に花が咲き、お店の方から短冊の漢詩の説明も受け 全員が楽しい休憩時を過ごし参加されたみんなが楽しく交流をもてた1日となりました。未ださつきとメイの家の見学ができませんでしたが、またの機会がありましたら企画させていただきます。



今、プール歩行の後、ジャグジーにつかりながら、腰の悪い同世代の人とお喋りしています。

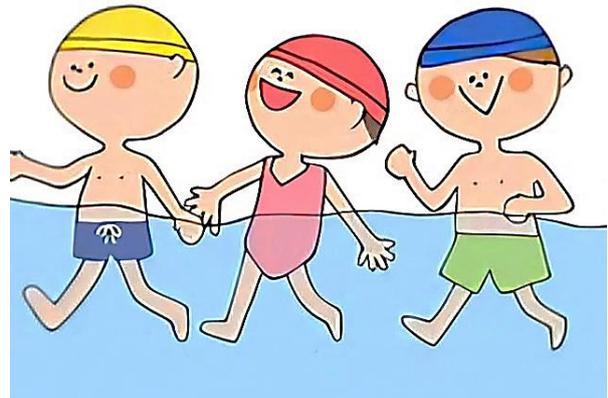
私も現役後半から腰痛で悩みました、5分立っていると足腰の強烈な痺れで、そのたびに屈伸運動をしていました。知人に紹介された接骨院に1年間根気よく通い、運よく完治し山にも登れるように、、、

しかし以後15年、再発、通院を繰り返して軽い痺れは数年前まで続いていました。

新型コロナ時、暇つぶしにプールで歩行トレーニングを始めました。歩き30分、泳ぎ20分とジャグジー10分の約1時間です。黙々と歩くことが性に合ったのか 昨年は207回(日)も通い、気が付いたら足裏のもぞもぞ感や足腰の痺れもなくなっていました。嘘のような本当なことです。

私の腰と健康はプール歩行での成果と実感しています。今年も200回(日)を目標に頑張っています。

プール歩行しながら子供のころ、バカの一つ覚えで歴代天皇の神武さんから五代孝昭天皇までを、友達との会話で口遊むと「馬鹿の一つ覚え」と笑われていました。いつの間にかプールの歩行時にこれをぼそぼそと口遊むようになり、今は代を増やし京都に開府した五十代の桓武天皇まで来ました。



これは実に簡単、僅か2分。バカの一つ覚え、まるでお経を唱えるごとくです。

欲が出るものですね、二年前何を思ったのか小倉百人一首をやってみようと思い天智天皇から現在は40番の平兼盛まで暗誦、これは大変です。

順番、歌人、句を覚え、似たような句も多く日頃繰り返し暗誦しないと間違いや忘れてしまいます、一気の暗誦は難しくなかなか41番に進めません。

嬉しいことがありました。

昨年の晩秋、鯉城大学の修学旅行で奈良春日周辺を参拝の折、周辺の散策図や看板掲示板などに、百人一首に出てくる地名が幾つも目に入った。

春日、三笠山、手向山など、1300年前の安倍仲麿、在原業平、菅家などの歌人が詠んだ風景を、今自分も見ているんだと思うと、とても嬉しく感動しました。

暇つぶしで始めたプール歩行が自分の健康維持とボケ防止に良い事と信じながら今日もプールでボソボソと暗誦しながら歩いています。

季節の花を愛でるウォーキング

37期 伊藤 恵子

令和4年に友人の勧めで鯉城学園に入学したことで私の生活は大きく変わった。学びと新たな出会いを知り、卒業後のシルバーカレッジ入学と鯉城会入会に繋がった。仕事を辞めたらさぞかし暇を持て余すだろうと思っていたのに、シルバーカレッジとサークル活動、鯉城学園のクラス会とクラブOB会、中鯉城会の催しへの時々の参加と、むしろ忙しい。かつては忙しい合間の気晴らしやリフレッシュとして行っていたことが今はメインとなり忙しくなるなんて想像もしていなかった。

それらの中で私に企画と呼びかけを任されていることがある。健康Bのクラスの仲間と季節の花を愛でるウォーキング会だ。クラスのグループラインで企画を知らせて参加者を募り集まったメンバーで歩く。6~10人位集まりメンバーはその時々で入れ替わる。ランチ会を兼ねて毎回楽しい集まりとなっている。

直近では名鉄半田口駅から矢勝川沿いを新美南吉記念館まで歩くコースを往復した。今年は猛暑の影響で彼岸花の開花が遅れたが、遅れを考慮して実施したので丁度見頃となり大満足のウォーキングとなった。

子供の頃、彼岸花は家の近くの田んぼの畦道やお墓に沢山咲いていたが、大人達から縁起が悪い花だから取って来てはいけないと言われていた。それでも私は丸くそり返った可憐な赤い花が好きで自分の机の上に飾ったりしていた。毎年彼岸花が咲く時期になると畦道に咲く風景を思い出し、また見たいと思っていた。

矢勝川沿いに2キロメートルに渡ってほぼ満開に咲いた花を見て、新美南吉の作品世界を表現しようとした地元の方々の努力を感じながら歩いた。また中途半端にしか知らなかった彼岸花のことをあらためて確認してみた。秋の彼岸の頃に咲くので彼岸花と言われ、根に毒があるためモグラの被害を防ぐために田んぼやお墓に植えられ、死者の花のイメージになったらしい。また赤い色が血の色を想起させることから不吉な花のイメージが定着したらしい。一方で、曼珠沙華とも言われ、仏教では「天上の花」という意味を持つそうだ。日本とは違い海外では不吉というイメージはなく、綺麗な花ということで人気があるそうだ。

新美南吉記念館では南吉の生涯と日記などによる南吉の言葉を読んだ。童話作品ではあるが大人にとっても学ぶことが多いと思われ、作品を読んでみようという気になった。

目で癒され、心身の健康に良いウォーキング会は今後も続けようと思っている。さて、晩秋は何処で何を見て歩こうかと思案中である。



相国寺展

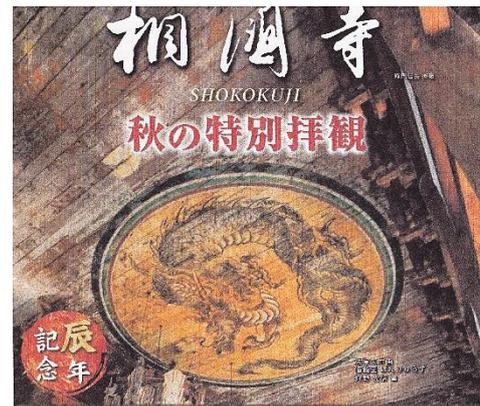
28期 佐藤 典子

10月2日、暑い秋晴れの中 京都へバス旅行に参加しました。相国寺・智積院・豊国神社への訪問です。中でも相国寺は素晴らしかったです。

秋の特別拝観。今年の干支辰年にちなんで参拝者が非常に多かったです。現在最古の幅約28mを誇る法堂の天井に八方にらみの「ばんりゅうず」が描かれています。さらにこの天井は「むくり」と呼ばれる技法により中央が少し上向に向かって盛り上がりしており、その下で手をたたくと音が反響して返ってくるので「鳴き龍」と言われており、私も実際に手をたたいて反響音を確認してきました。

名古屋に戻ってくると なんと愛知県美術館で「相国寺展」が催されることが分かり、現地で見ることが出来なかった「相国寺承天閣美術館」の収蔵されている作品を観に行きました。すごい人数で大変でしたが、作品が多数展示されており見応えがありました。相国寺の塔頭寺院である「金閣寺・銀閣寺」の収納品も多数展示されていました。京都のガイドさんの話では 明治維新の廃仏毀釈が吹き荒れていた時相国寺は寺内に住まわせていた「伊藤若冲」の作品を当時の貨幣およそ3万円で宮内庁に購入してもらい、そのお金を政府に渡して難を逃れたとの話でした。

貴重な文化財が壊されずに後世に受け継がれて良かったと思います。



栄・矢場公園 清掃

34期 白柳 みゆき

10月13日、真夏の暑さ程ではないものの残暑厳しい日でした 参加者19名、集合写真撮影の後、二手に別れて拾いました。

この辺は場所柄か、タバコの吸い殻、ペットボトル等 量も多いです。若者も多く行き交います。ゴミの量とマナーの悪さは比例するのかな？皆様の協力で多くのゴミが集まりました。やった感はありますね！ 勿論ゴミのない清潔な街のほうがいいに決まっています！

終わって、雀踊り総本舗でランチをしました。ゴミ拾いは大変ですが終わった後の楽しい会話とランチを楽しみ、いい疲れが残りました。

参加した皆様ありがとうございました。



私と白川公園

37期 藤城 栄一

名古屋に転居して5年が経過しました。郊外での暮らしが多かった私にとって、当初、高層ビルで囲まれた都心暮らしはどこか馴染めない部分もありました。しかし、“住めば都”、今では、旅行から名古屋に帰ってくるとホッとするようになり、名古屋に対する愛着が日に日に高まってきていることを感じています。

そんな私の名古屋のお気に入りの場所は、我が家から歩いて5分ぐらいの白川公園です。雨の日や体調が思わしくない日を除いて、ほぼ毎夕方、この公園を散歩しています。これが今の私の唯一とっていい健康法です。

家を出て、若宮通り（間もなく真黄色のイチョウの絨毯ができるのも楽しみです）の歩道を、ケヤキや楠など、数々の樹木で覆われた公園に向かいます。外周をゆっくり2回りしてから、科学館前の広場に到着。微かに汗ばむ体を休め、ベンチで缶ジュースを飲みながら一息つきます。この時が私にとって至福の時間です。ビル群の谷間から夕焼け空が覗きます。広場では、親子でキャッチボールをしたり、若い人たちがサッカーをしたり、ダンスを踊ったりしていて、遠くに遊具で遊ぶ子供たちの姿が見えます。ベンチでは、若いカップル、子供連れのご家族、そして仕事を終えた人たちが三々五々、憩いのひと時を過ごしています。

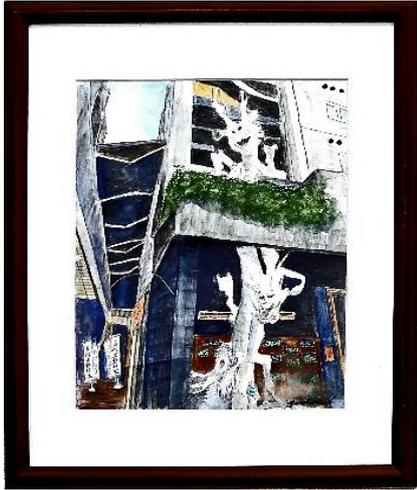
しかし、一見幸せそうに見えるその背後には楽しいことばかりではなく、きっと、辛いことや悲しいこと、仕事疲れなど、いろいろの問題を抱えて、この広場に集っているのではないかなそんな風にも見えてきます。そんなことを想いながら、私自身も来し方、行く末を考えたりすると、後悔やら不安やらが胸をよぎります。しかし、広場に集う人たちの姿をしばらく眺めているうちに、不思議なことに、体の奥深いところから、活力のようなものが沸いてくるのです。連帯感とか、共感がそうさせているのかもしれない。やおら缶ジュースを飲み干し、膝を叩いて立ちあがり、広場に集う人々に感謝しながら、“明日も頑張ってみようか”そんなことを考えながら家路につきます。

白川公園は、まさに私にとっての都会のオアシスなのです。



2024年 第18回中鯨城会趣味の作品展 目録

番号	期	学 科	名 前	題 名	部 門
1	22	陶 芸	浅井 康洋	万松寺の龍	水彩画
2	22	陶 芸	浅井 康洋	栄三丁目 café	水彩画
3	26	美 術	菅原 節子	ひとときの幸せ	水彩画
4	26	環 境	山田 晴久	野尻湖	水彩画
5	26	環 境	山田 晴久	函館	水彩画
6	26	環 境	山田 晴久	上高地	水彩画
7	29	文化 A	大島 照代	グロリオーサ	水彩画
8	32	地域 A	岩瀬 富美子	鶴舞公園奏楽堂	水彩画
9	32	美 術	長井 淳子	アンティーク人形	水彩画
10	34	音楽 A	鈴木 一雄	シギタリス	水彩画
11	34	音楽 A	鈴木 一雄	アマリリス	水彩画
12	37	生 活	川合 日出男	上高地	水彩画
13	28	文化 B	中川 健次郎	萬松寺 白雪稲荷	顔彩画
14	30	地域 A	岡本 洋造	紅葉珍會 (べにかちんかい)	水墨画
15	18	福 祉	小倉 靖生	千手観音菩薩	PC 画
16	22	国 際	河村 美津子	水面の妖精	写 真
17	22	国 際	河村 美津子	揺れる妖精	写 真
18	23	生活 B	多川 裕弘	店先 I	写 真
19	23	生活 B	多川 裕弘	店先 II	写 真
20	24	福 祉	西川 淳子	丹頂 I	写 真
21	24	福 祉	西川 淳子	丹頂 II	写 真
22	29	国際 B	鈴木 守宏	花	写 真
23	29	国際 B	鈴木 守宏	鏡	写 真
24	34	音楽 B	大口 隆史	光跡	写 真
25	28	国 際	荒川 萬里子	クレマチス	刺 繍
26	28	国 際	荒川 萬里子	ばら	刺 繍
27	16	文化 A	松井 香保里	花	絵手紙
28	28	文化 A	成瀬 雅子	花	絵手紙
29	28	福 祉	山川 富久	花	絵手紙
30		絵手紙講師	大野 貴子	花	絵手紙
31		絵手紙サロン	鈴木 順子	花	絵手紙
32		絵手紙サロン	神谷 あけみ	花	絵手紙
33	24	福 祉	西川 淳子	望天門山	書
34	30	生活 A	河合 知子	後拾遺和歌集 (ごじゅうい)	書
35	16	文化 A	松井 香保里	短冊	短 歌
36	27	文化 A	山岡 紀代子	短歌	短 歌
37	28	福 祉	山川 富久	短歌 「ああ 独居老人だあ」	短 歌
38	28	文化 A	成瀬 雅子	川柳	川 柳
39	30	地域 B	木原 榮二	川柳	川 柳
40	33	健康 A	堀田 友三郎	川柳	川 柳
41	28	文化 B	中川 健次郎	川柳	川 柳
42	25	生活 B	黒田 忠弘	川柳	川 柳
43	37	生 活	川合 日出男	川柳	川 柳
44	22	陶 芸	羽根 博雄	皿 鉢 など	陶 芸
45	28	生活 A	水野 勇	ツタンカーメン	工 芸
46	31	地 域	石原 佳子	色紙・絵手紙・小置物	色紙等
47	27	文化 A	山岡 紀代子	色紙	折り紙
48	26	環 境	山田 晴久	名古屋市市政資料館	水彩画
49	32	地域 A	岩瀬 富美子	おてだま	手 芸



1



2



3



4



5



7



6



48



10



8



9



11



12



13



15



16



17



18



19



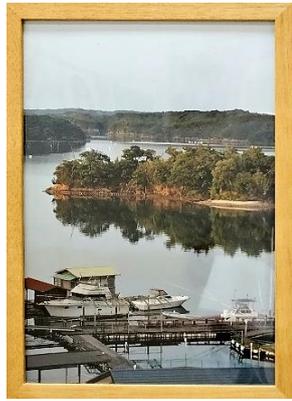
20



21



22



23



24



14



31



32



27



28

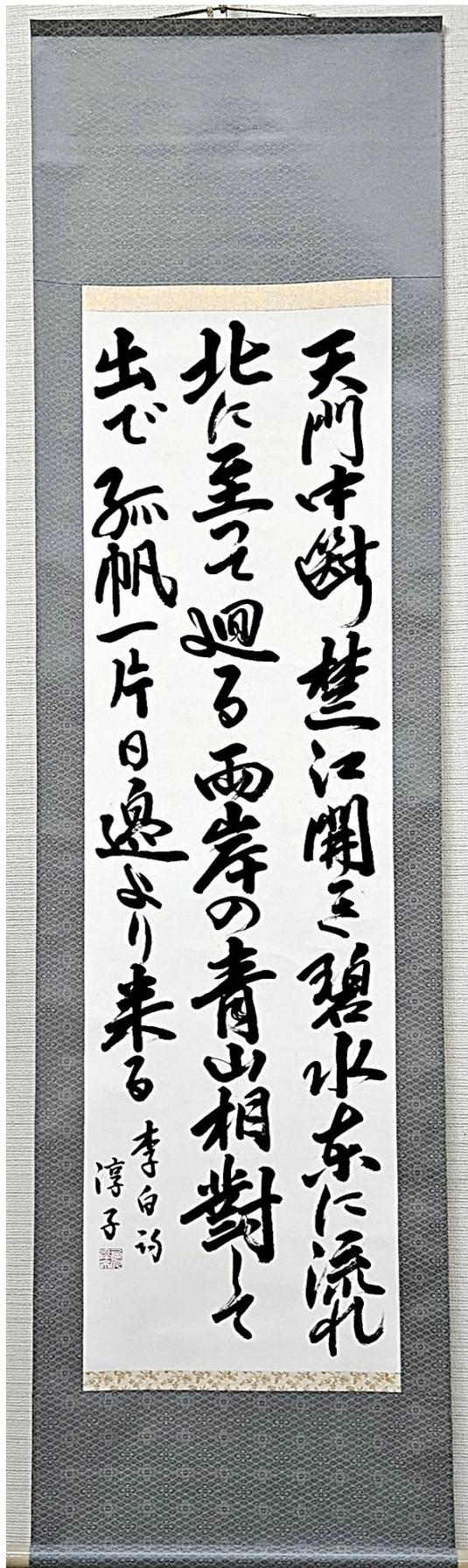


29

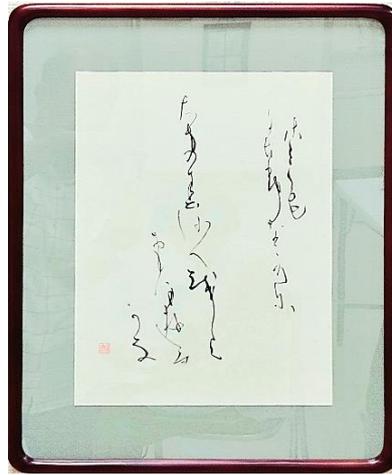


30





33



34



35



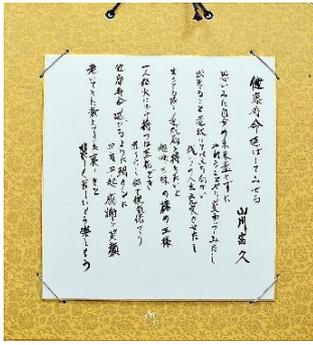
25



36



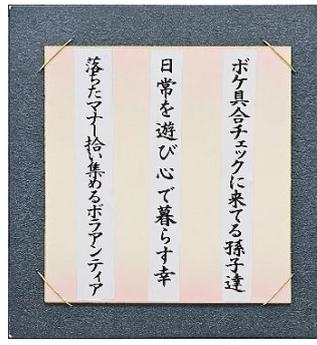
26



37



38



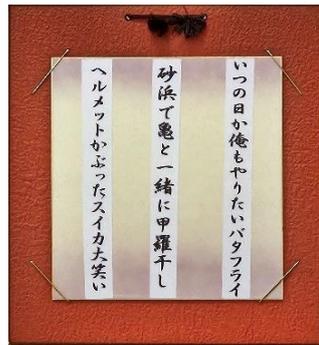
39



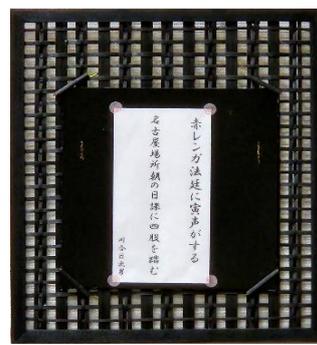
40



41



42



43



46



45



44



47



49



皆さん お疲れさまでした

★22 期陶芸 浅井康洋 「万松寺の龍、栄三丁目の café」

年を重ねて 9 月で 80 歳。絵を描く気持ちはアクティブでも足腰が伴わず、スケッチ場所も近場に限られて来る。今回は干支の「万松寺の龍」とパルコ近くのレトロな建物と赤いテントの「おしゃれなカフェ」が目にとまりました。

★33 期健康 A 堀田友三郎 「川柳」

中鯨城会趣味の作品展に出展するものがなく始めた川柳です。初めて 3 年目です。名古屋番傘川柳会で毎月の句会に出て昨年から同人にさせていただきました。毎月の句会で自分の句が読まれると自分の名前を大きな声で呼名します。今年は 11 月に開かれる「清流の国ぎふ」国民文化祭の川柳部門に参加します。毎週やっているマジック、ボウリングも健康の源です。元気に傘寿を迎えます。

★37 期 川合日出男 「上高地」

作品は、友人グループと上高地へ行った時の心象を絵にしたものです。河童橋先の湿原の明神池！ 豊かな湧水と流れる水草、紅葉と池の立木、幽玄な景色に圧倒されました。水彩の特徴を生かし上手く描けたと思っています。

★28 期 中川健次郎 「萬松寺 白雪稲荷」

大須で生まれ大須で育ちました。小さかった頃は、大須に映画館が 23 軒もあり、その近くの萬松寺にお寺の番人キツネさんが居たのでいつも挨拶しながら学校に通いました。このキツネさんを描いてみました。

★30 期 木原榮二 「落ちたマナー拾い集めるボランティア」

川柳を習いはじめて 6 年、掲題作品は「愛知県川柳作家協会」令和 5 年度年間優秀句の一つとして発表されました。作句の発想原点は、当中鯨城会の各種活動とりわけ清掃活動の実感として湧き出たものです。清掃活動では、タバコの吸い殻、ペットボトル、瓶、缶などの投げ捨て等マナーの低下を嘆きながらそれらを拾い集める活動を長い間継続して行っています。

★29 期国際 鈴木守宏 「鏡、花」

鏡は、伊勢英真湾に多くある島々を某ホテルの窓から眺めていたら、丁度近くの一つの島全体が鏡に映ったように見えた一面を写真にしました。

花は、中区のフラリエの公園を散策中、ふと、綺麗な紫色の花（名前：アリウム・ギガンテウム）が真ん丸く咲いており大変気に入りましたのでカメラに収めました。また、機会がありましたら大きいサイズにチャレンジして参りたい。

★22 期 国際 河村美津子 「水面の妖精、揺れる妖精」

あつという間の3日間でした。会場予約から当日の設営など、役員のみなさまには毎年のことながら、お世話様です。何年たっても、こうした自分の趣味を発表させていただける機会を与えて下さりまして、感謝しております。ありがとうございました。

★28 期 成瀬雅子 「絵手紙、川柳」

中鯉城会入会后 出展させて頂いています。絵手紙も川柳も上達には程遠いですが「下手の横好き」「枯れ木も山の賑わい」、、、、と楽しむことを一番に考えています。会場で久しぶりの友人と会えることも楽しみです。担当の委員の皆様には大変お世話になり感謝!! 感謝♡です。来年もよろしくお願ひします。

★28 期 水野勇 「ツタンカーメン」

遙か昔に本物を見たことは覚えています、まさか作ることになるとは、、、、。内部を空洞にするため外側を太さ3ミリ位の鉄棒で組み、周りに板状の樹脂板を取り付けて行きました。作業する時間も長かったですが、それよりも材料とか作り方を考える時間の方がとても長く、失敗を繰り返しながらも展示に間に合ってホッとしています。展示後は中社協さんが引き取って頂き、どうもありがとうございました。

★31 期 石原佳子 「頑張れ ドラゴンズ」

今年は龍年。ドラゴンズは昇り竜と思い、色紙には目を見開く竜を描きました。土鈴は白の下地からドラゴンズカラーの青を塗り、玉はボールを描き私のお気に入りです。しかし始めはまあまあだったドラゴンズついにどんどん最下位に、、、、。絵はがきの猫は悲しげな目で“にゃんとかなるさ”とつぶやいています。墨で描きましたカボチャの絵は紙のコースターです。

★32 期 岩瀬富美子 「鶴舞公園奏楽堂」

大好きな鶴舞公園の奏楽堂を描く事が出来ました。テレビドラマからの公園の映像はとてもステキでした。公園内の公会堂や噴水堂そして奏楽堂に思わず「きれい～」と言ってしまいました。このようにドラマに関連の市政資料館に展示出来たことはとても嬉しく思っています。

★24 期 西川淳子 「丹頂Ⅰ、丹頂Ⅱ 書・望天門山」

私の拙い作品を出展させていただき、ありがとうございます。人生航路の最終点に差し掛かり、精一杯頑張りました。出展しようという目標、気持ちを大事にして励んで行きたいです。春夏秋冬 一年の月日はあつと言う間に過ぎてしまい、大切にしたいです。

★26期 山田晴久 「野尻湖、函館、上高地、名古屋市市政資料館」

今年も中鯨城会の作品展（東鯨城会と合同）が市政資料館にて行われました。私も入会してから毎年作品を出品してきました。以前は中鯨城会が単独で作品展を行なってまいりました。部屋も三部屋借り作品数も多かったように記憶しています。今は一部屋のみで作品の数も少なく寂しく感じました。勿論展示品は皆さん力作で出品者には敬意を表しますが、私からのお願い「中鯨城会の皆さん、陶芸品、手芸品、趣味の園芸等、どんな作品でもいいです、挙げて出展してください」。

最後に作品展に色々骨折ってくださいました役員さん、大変ご苦労様でした。これからも作品展が益々発展するようお祈り申し上げます。



皆さんのご協力で「中鯨城会だより 47号」が完成しましたのでお届けします。ご協力、どうもありがとうございました。

また、今までは表紙に主に中区に関する風景写真を使用して来ましたが、次号からは広く皆さんからの投稿写真や絵画も使いたく、「中鯨城会だよりにふさわしい」作品を募集します。詳細は追って連絡します。

写真などは自由ですが一緒に裏面ページに説明文もご協力お願いします。

投稿された写真絵画などの選択は編集係に一任下さい。

編集が終わって



今回も たくさんの皆さんのご協力に感謝しています
これからも 投稿よろしくお願ひします



伊藤・藤城・水野



名古屋市高年大学鯨城学園
中鯨城会

中鯨城会皆様のご協力で第47号が完成出来ました
どうもありがとうございました

発行：中鯨城会・名古屋市高年大学鯨城学園
発行責任者：中鯨城会会長 34期 鈴木 一雄
編集：伊藤 守和 藤城 榮一 水野 勇